

おとずれ

(発行者)富士吉田カトリック教会

(住所)〒403-0005

山梨県富士吉田市上吉田3-5-7

(TEL)0555-22-3199

(FAX)0555-25-7002

2025年7月第515号 ホームページ <http://www.fgo.jp/~catholic/index.html>

本当にたいせつなもの

マリア・マグダレナ 曾根 美香

わたくしごとで恐縮ですが少しお付き合いください。

小学生の時から洗礼を受けたいという熱い想いは星美短大1年生の時に叶えられました。洗礼の恵みをいただいたのは19歳のクリスマスの朝でした。前日は大雪で、代母を迎えに行き教会に向かいましたが大渋滞で、時間に間に合いませんでした。そんなエピソードから早36年の月日がたちました。

今、微力ではありますが、共同代表の一人として、また典礼委員としてご奉仕させていただいております。香部屋当番の日は少し早めに教会に向かいミサの準備をします。当番でない日は典礼聖歌集を準備したり、聖書と典礼パンフレットを仕分けたりします。また奉仕当番表を作成しています。ミサ中は一番後ろにいて、何となく忙しい素振りをしています。元々いい加減な人間で、きちっとしたことが苦手です。失敗も多いし、間違いも山ほどあります。本来こうあるべきという教会でのしきたりといいますか、決まり事もきちんと理解していません。そして言い訳が「神様はすべてご存じで、許してください。」まったく始末におえません。そんな私ですが、いつも考えることは本当に大切なことは何だろうということです。

大切なのは、イエス様を愛することです。そしてイエス様が愛したように互いに愛し合うことです。人間関係の難しさもお互いの受け入れあい、許し合い、認め合いによって解決できると思っています。苦手な人も愛するように努力します。その教えに従うなら、争いは起きないはずだと思っています。イエス様が望まれるから、聖書の言葉に従って生きようと努力します。でも実際はできていない。それが現実です。なぜ、できないのでしょうか。やはり受け入れ合っていないことが一つの答えとして浮かんできます。また高みを望むあまり、そこに到達できないことを非難する。それぞれいただいた能力、タレントの中で、示すことのできる度合いは違います。イエス様に向かう心、その気持ちが大切なのではないのでしょうか。失敗はダメですか？イエス様はなにを望まれますか？もう一度、原点に戻ってみませんか。



富士聖母の巡礼に寄せて



フランシスコ・ザビエル 大野 隆

聖母月の5月24日(土)、山梨地区宣教司牧委員会・信仰を伝える力を育てる部門の活動として、富士山2合目の聖母像への巡礼を実施しました。山梨県内のカトリック教会から約30名が参加され、恵み豊かな楽しいイベントとなりました。

当初は現地の清掃と、ささやかな祈り・歌唱、昼食という予定でしたが、偶然にもポーランドの巡礼団・約20名と訪問が重なり、ポーランド語でごミサをあげられるとのことで、急遽参加させて頂けることとなりました。朗読と答唱詩編は両国の言葉で行い、ほとんど知らない国・言葉でも同じ祈りを共有できることに、改めて驚きと大きな喜びを感じられました。

ごミサの後も、お互い出会えた喜びを分かち合い、記念撮影などをして、巡礼団は次の目的地に向かわれました。こちらはブルーシートを広げて腰を下ろし、各自持参のお弁当。お腹も落ち着いたところで、サレジアンシスターズ Sr.濱口より、聖母像にまつわるお話をお聞きました。

建立にあたっては、国定公園の法律上の制約など多くの困難があったこと、それを乗り越えるお導きがあったこと、平和への願いが込められていることなど、印象に残るお話でした。昨今の世界情勢にあって、ウクライナの隣国からの巡礼者に出会ったことさえも、何か示唆的なものを感じずにはいられませんでした。

今回の巡礼は、一番近い山梨地区の信徒の方々に富士の聖母像を身近に感じて頂きたい思いもあって企画しました。ですが、それだけに留まらないお恵みを頂いたと感じています。世界中から集まる巡礼者を目の当たりにして、何かと分断に向かっている現代世界でも、自分たち

は一致できるという希望と勇気を与えられました。また企画があった際にはご参加頂ければ幸いです。

6 月教会委員会議事録

2025年6月 14 日実施

出席者:千葉神父・新井・江守・大野・佐々木(成)・佐々木(綾)・曾根・福永・和田
オブザーバー:ステファン・ザビエル

1. 【行事企画グループ】

- * 次回打ち合わせスケジュール 6月19日(木)、7月6日(日)
- * 行事企画グループ内に「行事实行チーム」が立ち上がった。行事企画チームと協力してパーティやイベントに対応していく。
- * 8月16日(土)オルガンを幼稚園リズムホールへ移動する。

2. 【婦人部】

- * 婦人部は今後「行事实行チーム」として活動を継続する。但し、男性もそこに参加する。
代表は福永明代さん。

3. 【典礼グループ】

- * ミサ前後の冷暖房器具準備及び始末について
 - ・スイッチを点けるのは香部屋係、掃除リーダーが最終チェック。
- * リモコン設置場所は天井ファンのリモコンの側
- * 外部の人がストーブを作動させることもあるので、タッチパネルに鍵をするか、コンセントを抜くか、今後検討する。
- * 典礼奉仕アンケートが、殆ど集まらないので個別に、頼んでみる。
- * 堅信式について
 - ・リハーサル 8月23日(代父母も参加)
 - ・勉強会 6月28日(土)・7月27日(土)11時から
- * 藤沢教会の資料を参考に「臨終から葬儀まで」パンフレット作成。「家族への覚書き」を添付して信徒に配ってはどうか。来月以降、話し合う。

4. 【一粒会大会】

- * 2027年10月11日(月)祝日山梨にて開催[YCC 文化ホールを借りる]
(オーナー)一粒会本部 (実行委員会)山梨地区 *準備に1年間位かかる。
- * 2025年箱根・2026年長野の大会を参考にする。
- * 2025年秋には実行委員会のメンバーを確定したい。
- * 富士吉田教会としては、企画グループ・典礼グループ等会計他(定員は決めない)

5. 【広報グループ】

- * 今月から English 版を作成した(通常版より1~2週間遅れることをご了承頂きたい)。
- * 15部印刷する予定(暫く様子を見て部数を決定する)。
- * 印刷責任者⇒新井さんをお願いする。

6. 【財務チーム】

- * 井上和也さんを新メンバーとして加わっていただく。

7. 【教会墓地の件】

- * 日本人信徒の墓地への関心が薄い(すでに家の墓を持っている等)ことと、現管理会社の運営の仕方が乱暴で霊園の将来が不安であること。この2つが教会墓地存続を考える際の問題点である。
- * 単純に合理性から言えば今閉じるべきだが、教会墓地に対する信徒たちの愛着を考えると、合理性だけで押し切るならば教会共同体に傷が残る。
- * この30年は入墓者無しの状態であったが、これから先墓地が必要とされるのではないか。
- * 入墓希望者が現時点で数人いる。外国人籍信徒にも聞いてみる必要がある。
- * 結論として、独立採算制で、形を変えて存続の方向で考えていく。

- *その際、墓地を閉じる時の条件(更地にする金額を取って置く)なども決めておく。
- *今後も情報集めが必要。堅信式後、教会委員会として検討を始める。

8. 【福祉グループ】

- *「愛を証しする力を育てる共同体委員会」→「福祉グループ」の奉仕内容等についての確認
 - *外部団体から教会に要請がある献金、献品については、福祉グループを窓口として是非を判断いただき、教会委員会で諮ることにする。
- カリタスジャパンからの呼びかけ募金はそのまま行う。

9. 【営繕グループ】

- *エアコン設置工事及び床下換気口工事支払いの件
エアコン設置164万円(建物付属設備取得支出)下換気扇、及び害虫駆除工事26万円(小規模修繕費)

10. 8月3日大掃除の件

- *ワックス掛け、外回り除草(ダルクの皆様に応援お願い)

11. 【その他】

- *スクリーン処分の件
リモートミサで使わなくなった。希望者に譲るので申し出てもらう。
- *6月15日、聖堂倉庫片付け予定。ご協力をお願いする。
会計室レイアウト変更も検討する。
- *共同宣教司牧サポートチーム神奈川主催「管理・運営奉仕者研修」に関連したお願い(江守)
現在、富士吉田教会として問題となっていること。他教会と分かち合いたい問題点を提示したい。以下は、教会委員会では出さなかったが、江守提案の予定
 - ・教会墓地の今後についての懸案事項
 - ・主に独居老人の方々(お身内が信者でない信徒)で、教会へ来ることができなくなった場合、つながりがなくなってしまう、万が一の時に連絡が取れなくなるなどの問題点を他教会はどのようにしているかなどをうかがいたい。
- *セコムに新しい「AED」機器の説明会を依頼
- *7月6日、7月20日 幼児洗礼予定

教会日誌(2025年5月16日～2025年6月15日)

【5月】

- 18日(日) サレジオシスターズ山中修道院聖母祭
営繕グループ 灯油ストーブ4台の燃料を抜き、集会室トイレ横収納に格納。
- 23日(金) 営繕グループ 聖堂床下、サーキュレーターを回しアースレッドで害虫駆除
- 24日(土) 富士の聖母巡礼。ポーランドからの巡礼団と一緒に、合同でミサを献げる。
- 31日(土) 管理・運営奉仕者養成コース(第1回)於:横浜司教館(江守)
「霊における会話」ファシリテーター養成コース(第1回)於:大船教会(小林)

【6月】

- 12日(木) キリシト教入門講座カテキスタ養成「基礎コース」(第2回)於:菊名教会(新井)
- 15日(木) 営繕グループ 聖堂エアコン工事、リモコン取付完了、稼働開始
聖歌隊練習

教会記録

◎転入

6月22日 ラウレンシア大橋梨々さん(東京教区、立川教会より)

お知らせ

皆さまの温かなご協力を得まして、

*ミャンマー地震救援募金…28,558 円

*ガザ人道支援募金…41,918 円

もの貴重な支援金をお預かりし、全額、カリタスジャパンに 送金いたしました。

ガザ人道支援につきましては、未だ紛争の解決の糸口も見えぬ有様。引き続き、主 日のミサの折りに、献金箱を置き、支援を続けてまいります。ご協力よろしくお願いいたします。(福祉グループ、財務チーム)



シスター マリア・トロンカッティ 列聖！

シスター マリア・トロンカッティ(1883-1969)は、イタリア・ブレシア近郊のコルテーノ・ゴルジに生まれ、若くしてカテキスタとしての信仰深さに惹かれ、1907年にサレジアン・シスターズに加盟、1908年に誓願を立てました。第一次世界大戦中は、看護師として赤十字病院で従事し、その後、1922年にエクアドルへ派遣され、アマゾンのシュアール族と共に宣教活動を始めました。

シュアール族の間ではその母性的で優しい存在から「ママシタ (Mamacita)」と親しみを込められ呼ばれ、医療と福音を通じて彼らの信頼を得ました。

1986年に列福の手続きが始まり、2008年にヴェネラービレに、2012年11月24日に列福が認められ、2024年11月25日には教皇フランシスコが奇跡認定を宣言。2025年6月13日の枢機卿会議にて、列聖式が同年10月19日に執り行われることが正式に決まりました

シスター マリアは、「母・宣教師・平和と和解の職人」として、その生涯を通じて弱者への愛と神への信頼を体現しました。私たちもこの機会に、彼女が示した謙遜・献身・平和の生き方を見習い、信仰と愛の歩みを共に続けていきましょう。



こ よ み

7月

日付	教会暦	行事内容等	日曜学校	掃除リーダー
7/6(日)	年間第14主日	行事企画グループ打合せ	○	大野
7/12(土)		教会委員会		
7/13(日)	年間第15主日	日曜学校第1学期終業式 墓地清掃	○	新井・福永
7/20(日)	年間第16主日	聖歌隊練習・ 共同宣教司牧委員会		和田
7/27(日)	年間第17主日	AED講習会(聖堂)		江守

御ミサは毎週日曜 9:30 開始です。変更ある場合のみ表に記載します。

イタリア語教室(月曜10時): 7月14、28日

8月予定

- ・ 3日(日) 年間第18主日 大掃除 (ワックス掛け)
- ・ 9日(土) 教会委員会
- ・ 10日(日) 年間第19主日
- ・ 16日(日) リズムホール会場準備 13時～
- ・ 17日(日) 年間第20主日 聖母の被昇天お祝いミサ、初聖体、ミサ後プチパーティー
- ・ 23日(土) 堅信式・パーティ準備
- ・ 24日(日) 年間第21主日 梅村司教様による堅信式

7月のミサ奉仕

日	先唱	第1朗読	第2朗読	香部屋
6	東海林義夫	小林恵美子	曾根 慈原	角 幸子
13	曾根 美香	遠藤 伸子	葉山 孝夫	江守香代子
20	遠藤 伸子	堀内 千鶴	佐々木綾子	小林恵美子
27	大野 隆	グエン ティ カ	佐々木成子	曾根 美香